

ヴィボルドーネ修道院、Abbazia di Viboldone

サンジュリアーノにも古い修道院がありました。このヴィボルドーネ修道院は 1176 年に建てられました。20 世紀になってから、ベネディクト修道院となっています。その前は、ナポレオンによりベネディクト派の一部である Olivetan の修道院として使われていました。もっと古くは Umiliati の修道院でした。Umiliati(英語では Humilitate)とは、11 世紀にロンバルディアにて形成された平民によるローマンカトリックの団体で、12 世紀に教皇の加護のもと修道会を形成しましたが、16 世紀には抑圧されて消滅しています。

現在は、女子修道院のようで、尼さんを何人か見ることが出来ます。現在の修道院としての設備は比較的新しい建物を使っていて、しかもあまり大きくありません。従って、今は修道院で何かを作っているわけではないようで、キアラヴァッレ修道院のような売店也没有。観光用の説明ボードはありますが、それほど商業化されてはいませんので、観光客もほとんど見ませんでした。キアラヴァッレ修道院に比べると、全体的にかなり質素です。教会内は見る事が出来ますが、教会の中は非常に静かです。内側は素晴らしいフレスコ画で覆われていますが、照明が無いために写真はうまく取れませんので、その場でじっくり見るしかありません。修道院の周りには多分、修道院の設備の一部であつたらう古い建物が並んでいますが、ほとんどが廃墟のようになっていて現在は使われていません。修理をしているところはありますが、人は誰も住んでいないのでゴースタウンか古い遺跡のようです。但し、これらの設備を見ると、かつては、修道院内で農業を初めとしていろいろなものを作っていたことが伺われます。何故か、ゴースタウンの先にトラットリアが 1 件あります。ゴースタウンも含めて、この一画の回りは畑です。まさに、田舎にぽつんと建っている修道院です。ライトアップの設備は正面に一つだけあります。でも、夜は、ちょっと近寄りたいたいところだと感じました。ゴースタウンにぽつんとマリア様の像があり、花が供えられているのが印象的でした。

写真：





サンドナートから 121 番又は z420 のバスで Emilia 通りをサンジュリアーノに向かい、サンジュリアーノの鉄道駅でバスを降ります。料金はサンドナートから片道で 1.2 ユーロ (黄色のチケット) です。バスが道から外れて駅に入っていくので降りるところはわかりやすいと思います。また、バス停には Viboldone の看板が出ています。バスを降りてサンドナート方向に少し戻ったところに、歩行者専用の地下道があり、そこ通り鉄道線路の下をくぐり線路の反対側にでます。そこから真直ぐな並木道が見えますのでそこを歩いていきます。並木道からはヴィボルドーネ修道院の鐘楼が見えますので、それを目指して真直ぐ歩くだけです。5, 6 分歩けば到着します。

修道院の周りは、ほとんど畑です。並木道にはほとんど車は通りません。サイクリングやジョギングをしている人しか見ませんでした。並木道の両側は畑ですので綺麗な空気を吸うことが出来て、非常に気分の良い散策が出来ます。修道院の鐘楼がヨーロッパを感じさせてくれます。

修道院からゴーストタウンを抜けると小川沿いに舗装した細い道があります。そこを真直ぐ北方向に 10 分くらい歩くと Civesio という街に出ます。街はゴーストタウンからも見えますのでそれほど遠くはありません。街の入口から 5 分くらいのところに、Rating 5 の Antica Osteria Civesio という名前のレストランがあります。修道院からレストランまで歩いて 15 分くらいです。普通の家のようなレストランです。Rating 5 ですから一度は行きたいレストランです。レストランで食べてから修道院へ行くか、修道院を見てからレストランに行くか、どちらかの計画を立てると、100%以上満足できると思います。このレストランは予約が必要だと思います。

このレストランから 20 分くらい歩き、歩行者用の地下道で線路をくぐるとサンドナートのスタンダのあたりに出てきます。ちょっと距離がありますが、歩けない距離ではありません。